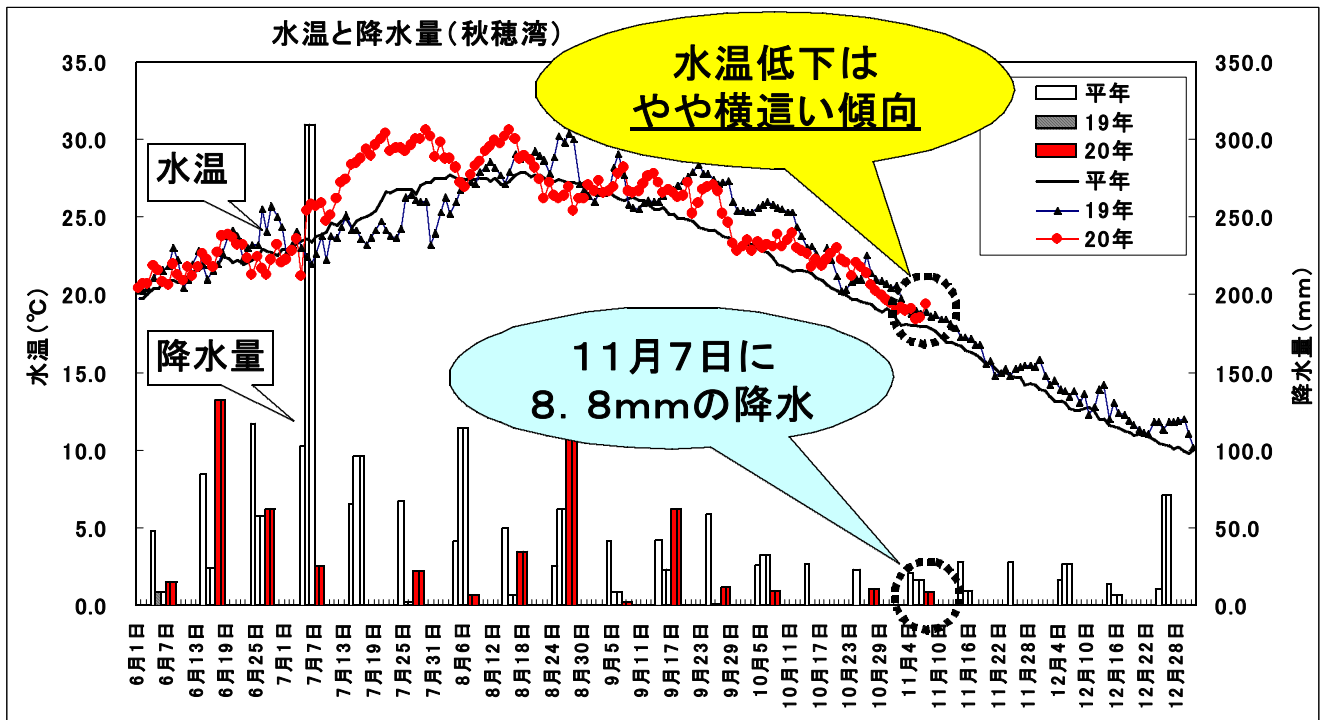


1 気象・海況

(1) 水温と降水量(秋穂湾)

11月に入って緩やかに低下していた水温はやや横這い傾向にあります。11月7日の秋穂湾の水温は19.4℃(前年比+0.5℃)です。各漁場の11月5、6日の水温は下関地区17.3~17.5℃、宇部地区で16.5~19.8℃、防府地区23.0℃となっています。向こう一週間は、気圧の谷や前線の影響で曇りの日が多く、期間のはじめは雨となる見込みです。気温は平年並みに推移する予報となっています。



(2) 栄養塩

地区	DIN	PO ₄ -P
下関地区	平均112.6ガンマ(低108.9~高116.2ガンマ) 平年比103%、前年比713%	平均15.5ガンマ(低15.2~高15.8ガンマ) 平年比123%、前年比212%
宇部地区	平均29.3ガンマ(低11.7~高290.9ガンマ) 平年比46%、前年比130%	平均12.8ガンマ(低10.9~高25.4ガンマ) 平年比118%、前年比191%
防府地区	平均16.4ガンマ(低12.6~高20.2ガンマ) 平年比41%、前年比43%	平均12.3ガンマ(低11.2~高13.3ガンマ) 平年比125%、前年比85%

※宇部地区では著しくかけ離れた測定値を平均値から除外してあります。

2 プランクトン

付着珪藻はアクナンテス、ポドフリア、ナビキュラが主体。昨年最も多かったリクモホーラは今のところ少なめですが、これから増えてくると思われます。全域にわたりコシノディスカス、リゾソレニア等の色落ち原因種が増加し始めました。

3 育苗状況

委託網の搬入も始まり、各地区で張り込みが本格化しました。

〈王喜、小野田地区〉5枚重ねで育苗中、近々展開する予定。アオノリ対策の活性処理を実施。
 〈厚狭地区〉3日から支柱漁場で育苗開始。葉体は7mm程度、色調は良好でアオノリは見られない。

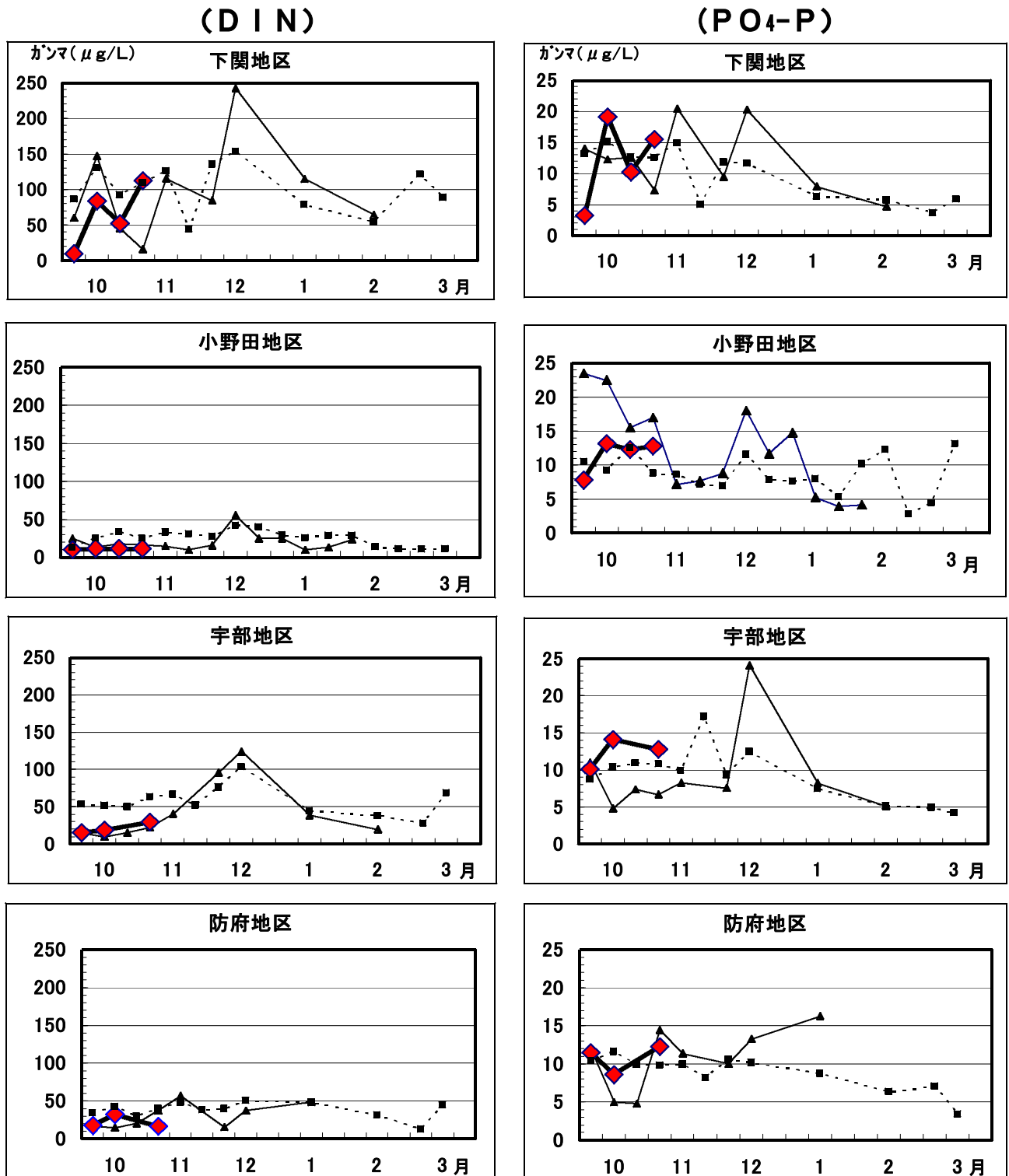
〈高泊地区〉野外採苗した網は現在育苗中、順次展開する予定。陸上採苗分は既に入庫済み。一部で芽落ちが発生したが、その他は概ね順調。先行しているタンチサイは全力摘採中。

〈宇部地区〉4日から6枚重ねで育苗を開始。アオノリ対策の活性処理を実施。葉長は長いもので2cm、葉体の健全度は網により差が目立つ。海況を見ながら10日の会議で入庫、本張り日を決定する。

4 生産状況

高泊ではタンチサイの生産が本格化。製品は良い。近々2番刈を開始する。

栄養塩調査結果(11月5、6日)



◆—20年度、▲—昨年度、■…10年平均 (※小野田地区分析:山陽小野田市環境調査センター)